

神奈川県理学療法士(協)会 代議員立候補者

定 数 : 18 名

立候補者数 : 16 名



氏名 久保 雅昭

都道府県士会 神奈川県

年齢 44

勤務先名称 医療法人社団健育会 湘南慶育病院

協会・士会役員歴

神奈川県理学療法士会理事を4期、日本理学療法士協会代議員を2期務めてきました。

立候補の趣旨

理学療法士の職域の安定、社会的認知度の向上などを社会活動の主として尽力したいと考えて立候補しました。



氏名 炭 孝昭

都道府県士会 神奈川県

年齢 62

勤務先名称 太田総合病院

協会・士会役員歴

協会役員歴
2014年～現在：代議員

士会役員歴
2000年～2002年：(社団)神奈川県理学療法士会 高齢者福祉部長
2004年～2009年：(社団)神奈川県理学療法士会 理事
2010年～現在：(公社)神奈川県理学療法士会副会長

立候補の趣旨

中央集権色の強い組織運営を行ってきた協会であったが、近年地域包括ケアシステムの構築など、地方色の強い運営が求められている中、士会においても周囲の認知が高まり要望が増えてきている現状があります。

士会においては増え続ける要望に対応すべく、既に支部化・ブロック化が進められ、支部・ブロック内での会員相互の役割分担や関係強化も同時に求められ同時に求められ、支部・ブロックと士会の関係強化も重要な課題であると思われます。

協会事業を進めるうえで、士会と会員との関係を深め会員の理解と協力を得ることが、協会と士会並びに会員相互のシームレスな関係作りには不可欠であると思われます。

過去、2期にわたり、協会代議員を拝命してまいりましたが、引き続き、協会と士会並びに会員間の関係強化の一助になればと思い立候補致します。



氏名 浅田 秀人

都道府県士会 神奈川県

年齢 28

勤務先名称 Luxem訪問看護リハビリステーション川崎多摩

協会・士会役員歴

平成29年4月～現在 公益社団法人神奈川県理学療法士会 職能局環境支援部員

立候補の趣旨

日本理学療法士協会の会員数は、平成29年3月末で約10万人が所属しています。その中でも、30歳以下が約半数を占めています。神奈川県理学療法士会も同様の割合で若手理学療法士が多数を占めており、今後も毎年1万人の理学療法士が増えています。しかし、若手が直接的に意見を伝えられる場面は限られており、私たち若手は臨床の場面で日々不安を感じることが多々あります。それらを解消するために若手からの意見を伝えることが必要だと感じています。

現在、神奈川県理学療法士会はベテランや中堅層が中心となって運営をしております。今回立候補をさせて頂いたのは、今後10年後20年後を見据えてベテランの先生方が築き上げたものを次の世代へ引き継いでいく役割を担っていきたいと考えたためです。協会の発展のためには若手の積極的な参加や活躍が必要になります。私は、業界の未来を担う理学療法士が活躍するための下地作りや、協会の活動に参加したくなるような体制を作っていきたいと考えています。まだまだ私自身の力は微力ですが、これから会員の皆様に少しずつでも還元できればと思っています。よろしくお願いいたします。



氏名 山本 尚司

都道府県士会 神奈川県

年齢 49

勤務先名称 一般社団法人フィジオ運動連鎖アプローチ協会

協会・士会役員歴

2012～2017年 公益社団法人 日本理学療法士協会 理事
 2012～2013年 日本理学療法士協会 ICT特別委員会 委員
 2013～2015年 日本理学療法士協会 広報啓発業務執行委員会 委員
 2015～2017年 日本理学療法士協会 災害対策本部 部長

立候補の趣旨

この度、日本理学療法士協会（以下本会）代議員選挙に立候補するにあたり、私なりの決意を述べたいと思います。現在、理学療法士は専門職として、学術（研究）・臨床（技術）・教育・職能・政治の五つの素養が必要な時代となっています。特に職能領域を拡げ、新しい枠組みを打ち出していくことにより、日本の未来を支え、社会保障を変革していく姿勢が大切です。そのためには、政治への参画が必要であり、連盟活動が不可欠となってきます。しかしながら、まだまだ政治や連盟の必要性について、会員各位に十分に浸透していないというのが現状です。私は5年間、本会の理事として、務めさせていただいた経験からも、会員の皆様の一人一人の声を汲み取り、本会へ届けていくことの必要性を、最も感じています。それが一代議員の、役目だとも考えています。また、代議員は本会理事選挙において、我々の未来を託す一票を投じる権利を有しています。私自身、その重みと責任を全うすべく、神奈川県、臨床・教育・研究現場で活躍されている皆様と一緒に、県士会や本会と、行政や国との結びつきを深めていく所存であります。是非、その役割を私に託していただき、代議員として送り出していただければ幸いです。一緒に未来と希望を持てる職業に育てていきましょう！



氏名 相川 浩一

都道府県士会 神奈川県

年齢 44

勤務先名称 社会医療法人ジャパンメディカル
アライアンス

協会・士会役員歴

平成16年度から平成23年度 神奈川県理学療法士会 介護保険部 部長
平成24年度から現在 神奈川県理学療法士会 理事

立候補の趣旨

私は介護保険の分野を中心に神奈川県理学療法士会事業に協力してまいりました。また、訪問リハビリテーションの発展に微力ながら活動を継続しています。現在では神奈川県理学療法士会の事務局を担当する理事として、事務局機能の強化に向けて取組を進めています。日本理学療法士協会と協働の上、より良い士会運営につなげることができるよう代議員に立候補いたします。



氏名 林 克郎

都道府県士会 神奈川県

年齢 57

勤務先名称 横浜リハビリテーション専門学校

協会・士会役員歴

(公社) 神奈川県理学療法士会理事、2002-2010年
(公社) 神奈川県理学療法士会副会長、2010-2015年
(公社) 神奈川県理学療法士会会長、2015-2018年

立候補の趣旨

神奈川県理学療法士会役員として、16年間関わらせていただいております。地方の時代の流れに乗りPT協会も県士会との連携を強め、実務の移譲を加速させています。神奈川の実情を伝え、会員にとって魅力ある組織の在り方について、会員の皆様と共に考えていきたいと思っております。



氏名 根本 敬

都道府県士会 神奈川県

年齢 42

勤務先名称 湘南鎌倉総合病院



氏名 下田 栄次

都道府県士会 神奈川県

年齢 39

勤務先名称 湘南医療大学

協会・士会役員歴

2016年～ 日本理学療法士協会 代議員

協会・士会役員歴

【協会】
平成27年6月～平成29年6月
（公社）日本理学療法士協会 将来構想戦略会議 災害対策本部 部員
【士会】
平成25年11月～
（公社）神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 委員
平成26年 4月～
（公社）神奈川県理学療法士会 公益事業推進部 部員
平成28年 6月～
（公社）神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 委員長

立候補の趣旨

仏教の説法において、例えば話がまとめられた「比喻経」という経典があります。物語の中で、ある目の不自由な人が暗がりでの提灯（ちょうちん）は自分には無用の長物と主張します。しかしそれを聞いた釈迦は、その人の存在を周囲の人に認知してもらうために提灯を持つことも大切、と諭すのでした。

静かに考えてみると、たとえそのとき自分には不要でも巡り巡って要用と変わるものもあるれば、他者にとっては最初から余業無いもの、そんな奇矯な関係性が世には数多くあるようです。立場が異なることを鑑みれば及ぶ考えもあるでしょうが、いずれにしてもどこまで溶々と、かつ聡明に想像の翼を広げていくかが枢要で、どの立場の人達にも役割や使命、それに基づく思考と行動様式が存在します。そして、それはどれも不要なものではないはずです。

代議員とは文字通り、代表として議に立つ役割を担う員（ひと）。物事の様々な概念や可能性、人の立場を顧慮し、俯瞰の姿勢で協会組織の差配に携わることができれば幸甚です。“暗がりの提灯”は誰のためにどう使うべきなのでしょうか。その仕儀を求め行くことこそ、自己の当為としたためます。どうぞ宜しくお願い致します。

立候補の趣旨

東日本大震災を経て、神奈川県理学療法士会では、平時における災害対策、県内会員や県民への防災意識を高めることを目的とした普及啓発活動を担う常設の委員会として災害対策委員会が設置されました。これまで私は、災害対策委員会の開設準備・立ち上げから委員として携わってまいりました。

その後、公益事業推進部と協働し、地域包括ケアシステム推進事業と並行しながら神奈川県内における災害支援体制から地域支援・防災システムとネットワークづくりについて、災害対策研修会や災害対策キャラバンといった災害リハビリテーション支援事業を推進しています。

また日本理学療法士協会 将来構想戦略会議 災害対策本部部員としても協会の災害支援事業に従事してまいりました。

協会においても、今後の大規模災害に備えた体制づくりや人材育成が急務であると考えます。

災害時における理学療法士の役割を整備し、協会と士会組織間における災害支援ネットワークを強固なものにすべく、代議員に立候補いたします。

ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



氏名 惣田 洋

都道府県士会 神奈川県

年齢 54

勤務先名称 横須賀共済病院

協会・士会役員歴

2000-2001年度	神奈川県理学療法士会	理学療法週間推進委員長
2002-2012年度	神奈川県理学療法士会	理事
2013-2016年度	神奈川県理学療法士会	常任理事 横須賀三浦ブロック担当
2017年度-現在	神奈川県理学療法士会	理事 横須賀三浦ブロック担当
2010-2017年度	日本理学療法士協会	代議員

立候補の趣旨

2018-2020年度協会代議員に立候補いたします。
 県士会理事就任から一貫して理学療法の普及啓発・公益事業の推進に携わり、社会局を担当しております。
 2013年度、公益社団法人移行を機に社会局各部署は活発な事業を展開しており、これらの事業が円滑かつ確実に遂行できるよう努力しております。
 さらに、協会代議員に再選されることで、協会と県士会事業の連携・協力を大いに寄与できることを期待して立候補いたしました。
 よろしく願いたします。



氏名 渡邊 裕之

都道府県士会 神奈川県

年齢 52

勤務先名称 北里大学医療衛生学部

協会・士会役員歴

平成13年4月～平成20年3月：神奈川県理学療法士会スポーツサポートケア委員会委員長
 平成20年4月～平成24年3月：神奈川県理学療法士会スポーツ支援・健康増進部部長
 平成25年3月～：日本スポーツ理学療法学会運営幹事
 平成27年6月～：神奈川県理学療法士会理事
 平成29年6月～：神奈川県理学療法士会 常任理事

立候補の趣旨

このたび、日本理学療法士協会代議員に立候補させていただきます。私は平成20年から神奈川県士会の事業運営に関わり、現在では県士会理事として微力ながらお手伝いをさせていただいております。最近10年の理学療法士を取り巻く環境は大きく変わりました。全国の理学療法士数が10万人を超え、就労環境は決して良い状況ではありません。資格さえ所有していれば安泰の時代は終わりました。これからは理学療法士として社会に存在意義を示せるよう攻めの姿勢も必要です。そこで数の力を有効に活用するためにも組織力の強化と適切な事業計画に基づく効果的な運用が必要です。指数関数的に増える会員の組織化は難しさを含みます。現在の状況は増える会員数を予測して計画が立てられているのでしょうか。組織化に関しては5年後、10年後を見据えた長期的な視野を持って進めるべきです。また、最近では理学療法士の技術力の低下が叫ばれています。私は技術力の低下は管理する士会や協会が認識している以上に会員個々が日々感じていることと考えます。理学療法士関連の講習会が盛んなこともその現れです。ただし、理学療法士の基本となる技術が担保されることも必要ですが、時代のニーズに合った理学療法を備えることも必要です。医療費が増大する中、患者はますます地域に戻されることが余儀なくされます。地域（地域包括ケア）の中で理学療法士に求められる技術とは何か、現状では答えが出ていないように思います。これから理学療法士は何に目を向けて組織的な活動を進めていくべきなのでしょうか。また、新しい制度や社会構造に対して理学療法士はどのような技術を身につけるべきなのでしょうか。私は多くの課題が待つ新しい時代に対して迅速に対応し、理学療法士の社会的存在意義を高めるため代議員として尽力していきたいと考えております。



氏名 大槻 かおる

都道府県士会 神奈川県

年齢 63

勤務先名称 タツミ訪問看護ステーション海老名

協会・士会役員歴

協会
平成22年～現在 (公社) 日本理学療法士協会代議員
士会役員歴
平成18年～現在 (公社) 神奈川県理学療法士会理事

立候補の趣旨

私は、平成18年度より(公社)神奈川県理学療法士会の理事を務めております。平成22年より司会の意思を協会に繋げたいと代議員になりました。今現在もそのように活動したいと考えております。会員のWLBのサポート、管理者育成など士会役員活動での問題点などを協会に伝え問題提起していきたいと思っております。そのために今回も立候補いたしました。



氏名 谷口 剛俊

都道府県士会 神奈川県

年齢 43

勤務先名称 伊勢原たかはし整形外科

協会・士会役員歴

平成15年～20年 東京都理学療法士会 成人福祉部部員
平成20年～23年 埼玉県理学療法士会 北部ブロック運営委員
平成23年～25年 埼玉県理学療法士会 北部ブロック理事

立候補の趣旨

今後の数十年続く少子高齢社会において、社会保障費の問題は医療・介護業界だけでは解決できない問題だと思います。そのため理学療法士が保険下ではもちろん、地域の中でしっかり活躍をすることで、国民の皆様の介護予・認知症予防、更には障害予防が行え、地域が活性することで国が繁栄し、次の世代に笑顔ある未来を引き継ぐことができると思っております。そのため役員の皆様にお任せするだけではなく、自分自身の現在までの士会、連盟活動、臨床現場での経験を活かし、さらに地域で働く皆様のご意見を随時お聞きしながら今後の理学療法の発展と、地域を元気にすることを模索し、皆様とご協力しながらしっかり実現するために代議員に立候補させていただきます。よろしく申し上げます。



氏名 長澤 充城子

都道府県士会 神奈川県

年齢 55

勤務先名称 川崎市れいんぼう川崎

協会・士会役員歴

平成19年4月から神奈川県理学療法士会社会局環境支援部部長
 平成26年4月から神奈川県理学療法士会職能局環境支援部部長 現在に至る
 平成29年4月から神奈川県理学療法士会職能局管理者育成委員会委員を兼任

立候補の趣旨

私は、20年以上にわたり在宅生活を支援する理学療法士として働いています。在宅での理学療法は他職種と協働してすすめていきますが、経験を積むほど他の職種の介入内容を理解していき、少しずつ他職種と職域が重なり合ってきます。そのため、私は理学療法士としての専門性を常に意識し自己研鑽に努めてきました。

残念ながら、理学療法士としての専門性を高める努力は個人レベルあるいは職場レベルであり、協会から組織的に後押しされていることを実感しにくいように思います。

私は、平成19年4月から、環境支援部部長として活動し、理学療法士が生活の支援をする際に必要とする「福祉用具や住宅改修など環境調整に関する知識・技術」を学ぶ研修会を企画し開催しています。これまで多くの会員の方に受講していただき、地域で活躍できる人材の育成に多少でも関わってきたと自負していますが、まだまだ後押しを実感するには不十分であると感じます。

シーティングを実施し疾患別リハ料を算定できるようになりましたが、医療では介護保険のように個人に合わせた福祉用具を手配することは困難です。歯がゆい思いをしている会員も多いのではないのでしょうか。

患者様や地域のニーズに応えて理学療法士としての責任を担い成果をあげてを望まれますが、そのためには私たちが理学療法を行う上で必要な環境づくりも大事であると考えます。

理学療法士が社会に必要な職種と認知され、成果に見合った対価が得られるように会員の皆様の現場からの声を届け、協会に提案していきたいと思っております。

社会情勢に応じて先を見据えた協会の活動と私たち県士会会員の思いが一致していくように、間をつなぐ役割を担いたいと思い今回代議員に立候補いたしました。



氏名 佐藤 史子

都道府県士会 神奈川県

年齢 56

勤務先名称 横浜市総合リハビリテーションセンター

協会・士会役員歴

平成22年～平成24年 社団法人神奈川県理学療法士会 理事（社会局担当）
 平成24年～平成25年 社団法人神奈川県理学療法士会 理事（学術局担当）
 平成25年～平成27年 公益社団法人神奈川県理学療法士会 事務局長
 平成27年～現在 公益社団法人神奈川県理学療法士会 副会長
 平成29年～現在 オリ・パラ理学療法レガシー検討小委員会委員

立候補の趣旨

現在、神奈川県理学療法士会でキャリアデザイン対策本部を担当しています。多くの理学療法士が毎年誕生していますが、卒後臨床で理学療法士として働き続けることに悩んでいる会員にも出会うことが少なくなく、また地域支援を行っていく中では、理学療法士の資質を問われる現状もあります。会員が自身にあった職域と働き方、そして不足している知識や技術を知り、また補う機会が補償される環境を整えていくことにより、理学療法士として力を発揮できる環境づくりを行いたいと考えています。

そのために、日本理学療法士協会と各都道府県士会の連携は必須であり、その一助になればと思い立候補いたします。



氏名 相馬 光一

都道府県士会 神奈川県

年齢 50

勤務先名称 神奈川リハビリテーション病院

協会・士会役員歴

平成27年6月まで公益事業推進部長
平成27年6月から神奈川県士会理事
平成28年から協会代議員

立候補の趣旨

神奈川県士会理事として主に総務部・広報部の執行理事を務め、協会の事業と協調して神奈川県士会の運営に努めるため協会代議員に立候補いたしました。



氏名 露木 昭彰

都道府県士会 神奈川県

年齢 48

勤務先名称 (有)足柄リハビリテーションサービス

協会・士会役員歴

日本理学療法士協会代議員 (平成26年～)
神奈川県理学療法士会理事 (平成18年～26年、平成29年～)

立候補の趣旨

職域拡大、会員保全のための活動を行うために立候補いたします。